

道徳通信

大野中学校
教職員研修資料
平成29年6月14日
No.1
道徳推進教師発行

「特別の教科道徳」にむけて

平成31年年度から「特別の教科道徳」がスタートします。平成29年度・30年度は教科化に向けての「周知徹底機関」となっています。

次期指導要領が掲げる道徳のことを「理論的に」知るのももちろん大切ですが、まずは(1)年間指導計画の整備と(2)道徳の授業改善から取り掛かっていこうと考えました。(1)(2)も31年度になってから取り組むのではなく、徐々に進めていったほうが良いことから、道徳通信を発行することとしました。1年間お付き合いください。

(1)年間指導計画の整備について

本校の年間計画は、以下のような表で示されています。次年度より使いやすい指導計画とするために、今年度実際に授業に関係した先生方の修正したものを次年度に引き継いでいくことが大切だと考えます。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
年	時	【主題名】・資料名	ねらい	学習活動と主な発問	「私たちの道徳」関連他	次年度に向けて	実施
+	+	【主題名】 【資料名】	ねらい	学習活動と主な発問	「私たちの道徳」関連他		
+	+						

【年間指導計画改善の視点】

①実施時期について

この時期に計画されているのが適切かどうかを考えてみてください。

②【主題名】・資料名について

新道徳の主題数は22項目になります。年間に35時間行うわけですので、授業を行う主題に「ダブリ」が出てきます。この「ダブリ」の部分、学校教育目標やスクールプランと関連させて「重点化」する方法や、学年の意図でダブらせることもできます。

③ねらいについて

授業のねらいが適切でなかった場合は、積極的に修正をお願いします。

④学習活動とおもな発問について

次年度に向けて、学習活動の形態などを各学級でそろえていく必要があります。授業の流れについて現在は授業者任せになっている部分もそろえていく必要があります。

⑤「私たちの道徳」関連他について

関連資料について見直しがあれば記録をお願いします。

⑥「次年度に向けて」について

①～⑤の視点で改善策がありましたら、この欄に書いてください。

⑦実施 実施したら「○」を付けてください

このデータは、[共有 25 道徳記録](#)→[道徳年間指導計画](#) 修正は[こちら](#)に入っていますので、各学年の道徳担当の先生を中心にこまめな修正等をお願いします。裏へ続く→

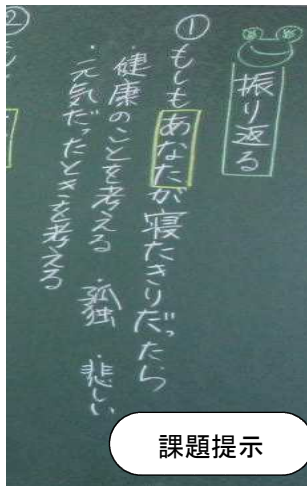
(2)道徳の授業改善について

昨年度はどの学級も年間指導計画に従い道徳の授業を行っていただきました。移行期の道徳ということで、「考え、議論する道徳」の授業にしなくてはならないとか、「評価はどうしたらよいだろうか」等、キャッチフレーズのイメージだけがだけが先行し、戸惑っている先生方が全国にいと聞きます。

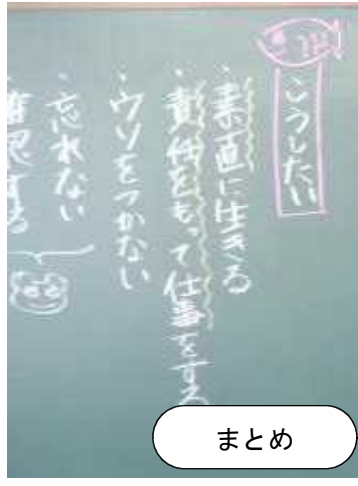
そこで、本校で取り組んでいる先生の実践を紹介しながら、できるところから学校全体で少しずつ授業改善を図っていければと考えております。

① 1 B の実践から

課題提示とまとめのある道徳授業を！



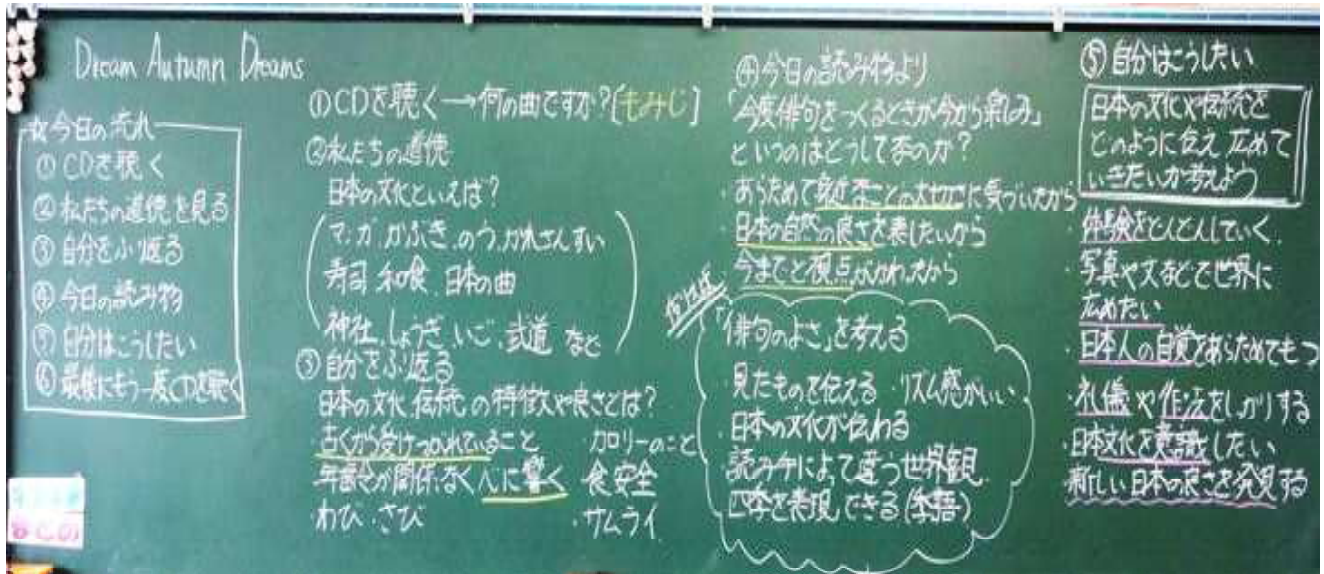
1 B の道徳の授業の導入は、「振り返る」から始まります。カエルの絵が付いています。
通常授業では「学習課題」の提示の意味合いがあり、自分の行動を振り返りながら、本時の授業に入っていく、授業の効果を高める工夫をしています。



「まとめ」については「こうしたい」として、自分の考えを表出する場面を作っています。
「こうしたい」なので、鯛の絵をかいて本日の学習を考え直す場面を作っています。タイミングもありますが板書はすぐ消さず、帰りの会等で復習することもあります。

② 2C の実践から

子どもの考えや意見を板書にまとめていきましょう



2 C 授業も③の段階で「振り返る」⑤の段階で「こうしたい」があります。また、授業の他の段階では、音楽を聴いたり『私たちの道徳』を活用したりしていることが授業を見ていませんが板書からしっかり伝わってきます。
実際に授業を行ってみると道徳の授業で子どもの思考や活動の流れがわかる、構造的な板書にするのは難しいことがわかります。授業を行う上で、「板書をする」ということを意識して行きたいものです。

※共有 25 を見ていただくと、各学年の道徳の板書などを写真に撮ったものがあります。また、道徳の授業の様子を学級通信に表している先生もいますので、ぜひ「25」に入れてください。